

東外大語学研究所 Luncheon Linguistics
(2021.06.16 オンライン)

コリヤーク語の属性叙述と事実叙述

—名詞のようにふるまう動詞に着目して—

富山大学人文学部
呉人 恵

主旨

- コリャーク語では、名詞と動詞に一般に考えられているほど明確な境界線がなく、両者の間には通路が開いている。
- 動詞だけでなく、名詞もデキゴトを表わすことができる。動詞はデキゴトを「時間の流れに沿って動的に展開するもの」として叙述し、名詞はデキゴトを「時間の流れを超越した静的・固定的なもの」として叙述する。
- このような叙述のタイプの違いは、名詞と動詞の「時間的安定性 (Temporal Stability)」(Givón 2001)の違いを反映している。
- コリャーク語ではこのようなタイプの対立が、デキゴト叙述の基盤となる。

出発点：名詞と動詞の区分の難しさ

A) 動詞の裸語幹に格接辞がつきうる。

- (1) 副詞節: *muget-ə-k*「雨が降ったので」, *təla-ma*「行く途中で」,
雨が降る-E-LOC 行く-COM
am-jək cav-a「急いで」,
ただ-急ぐ-INS
- (2) 命令: *ya-qlev-o-ŋvo-ta*「パンを食べなさい」
COM-パン-食べる-HAB-COM
- (3) 不定形: *java-k*「使うこと」, *ewji-k*「食べること」
使う-LOC 食べる-LOC
- (4) 事実: *ya-kminjal-lin*「(彼女が)出産した」
COM-出産する-3SG.S

B) 形態的には名詞だが、統語的には動詞のようにふるまう語がある
(赤字部分)。

(5) 義務: *ekil* *ənno* *an'pec-ə-ŋ* *vəʃaj-paje-ɣiŋ-ə-n.*
そのうえ 3SG.ABS 父-E-DAT 草-刈る-NML-E-ABS.SG
「その上、彼／彼女は、父親に草刈りをしてやらなければならない
(←ならないこと)」

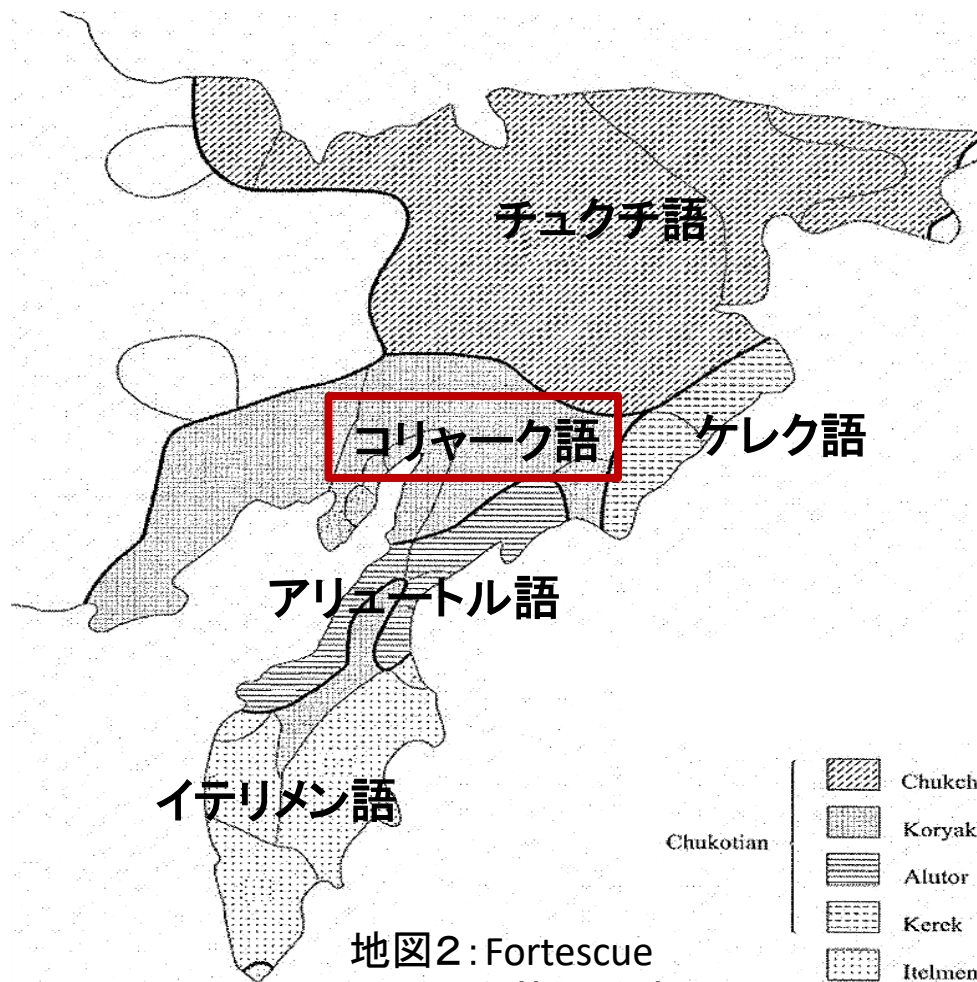
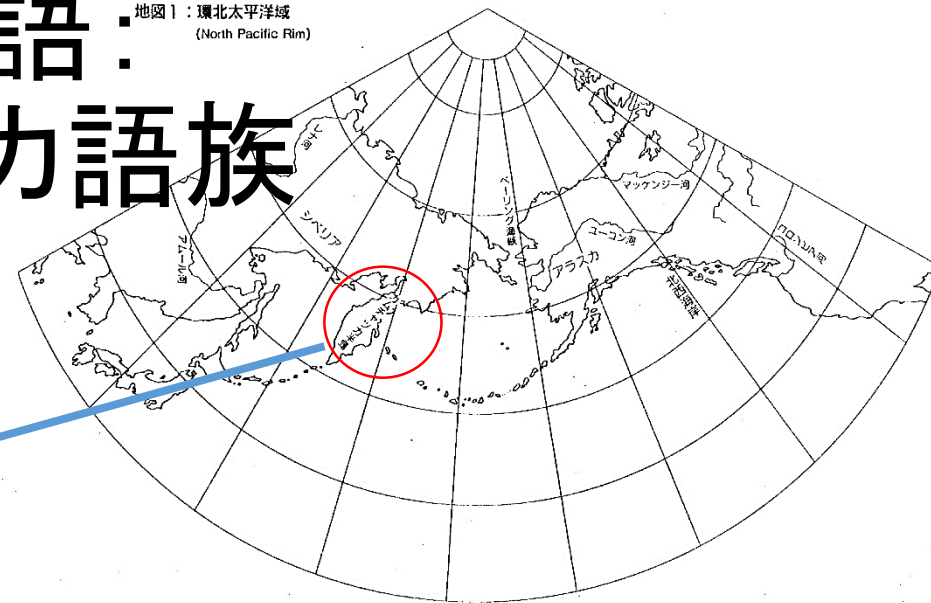
(6) 予定: *əccu* *mitiw* *awje-jolqəl-o* *awje-ja-k*
3PL.ABS 明日 食べる-予定のもの-ABS.PL 食べる-家-LOC
「彼らは明日、食堂で食べることになっている(←者)」

(7) 属性: *ənno* *jaja-k* *n-ə-wan'awcej-qin*
3SG.ABS 家-LOC PRP-E-しゃべる-ABS.SG
「彼／彼女は家ではおしゃべりだ(←なこと)」

(8) 事実: *əcy-ə-nan* *ŋəcceq* *walqa-ja-t* *ye-tejk-ə-linet.*
3PL-E-ERG 2 顎骨-家-ABS.DU COM-作る-E-ABS.DU
「彼らは(クジラの)顎骨製の2つの家を作った(←ことを持つ)」

新旧両大陸の橋渡しの言語： チュクチ・カムチャツカ語族

地図1：環北太平洋域
(North Pacific Rim)



地図2：Fortescue
(2005) を基に作成

Chukchi
Koryak
Alyutor
Kerek
Itelmen

◆ 環北太平洋域

「語族蜚集の回廊である。と同時に、
類型的な面白さの妍を競いあう言語
の園でもある」 (宮岡 2009:35)

両大陸の文化関係におけるコリヤークの位置づけ

- アメリカ西海岸と東アジア (or シベリア) の民族の間には文化的に共通したいくつかの点がある (Boas 1905:91)。
- 北東シベリアのチュクチ, コリヤーク, カムチャダール, チュヴァンツ, ユカギール, ギリヤークは, アメリカ先住民との身体的, 文化的, 言語的類似性に基づき, 「シベリアのアメリカノイド」と分類される (Jochelson 1928:43)。
- コリヤークには北米インディアン, エスキモー, チュルク・モンゴルの要素が見られるが, 中でも北米インディアンの要素が最も優勢である (Jochelson 1904:415)
- コリヤークと北米インディアンは今でこそ遠く離れているものの, 過去には継続的な接触や観念の交換があった (Jochelson 1904: 425)。

両大陸の言語関係におけるコリヤークの位置づけ

- 形態論的に、北東アジアの諸言語は、ウラル・アルタイ・グループとは関係していない。チュクチ語、コリヤーク語、カムチャダル語は多くのアメリカの言語同様に、**複統合的 (polysynthetic)** である。**名詞抱合 (noun incorporation)** もおこなう。基本的な特性において、アメリカの諸言語と類似している (Boas 1905: 95)。
- おおまかな分類では、北東シベリアの諸言語はアメリカの諸言語と同じ分類に含めるべきである (Boas 1905:95)



＜トナカイ橇は冬の交通手段＞ 8

<トナカイを解体する>





＜トナカイ毛皮の冬の衣類＞





＜家もトナカイ毛皮製＞



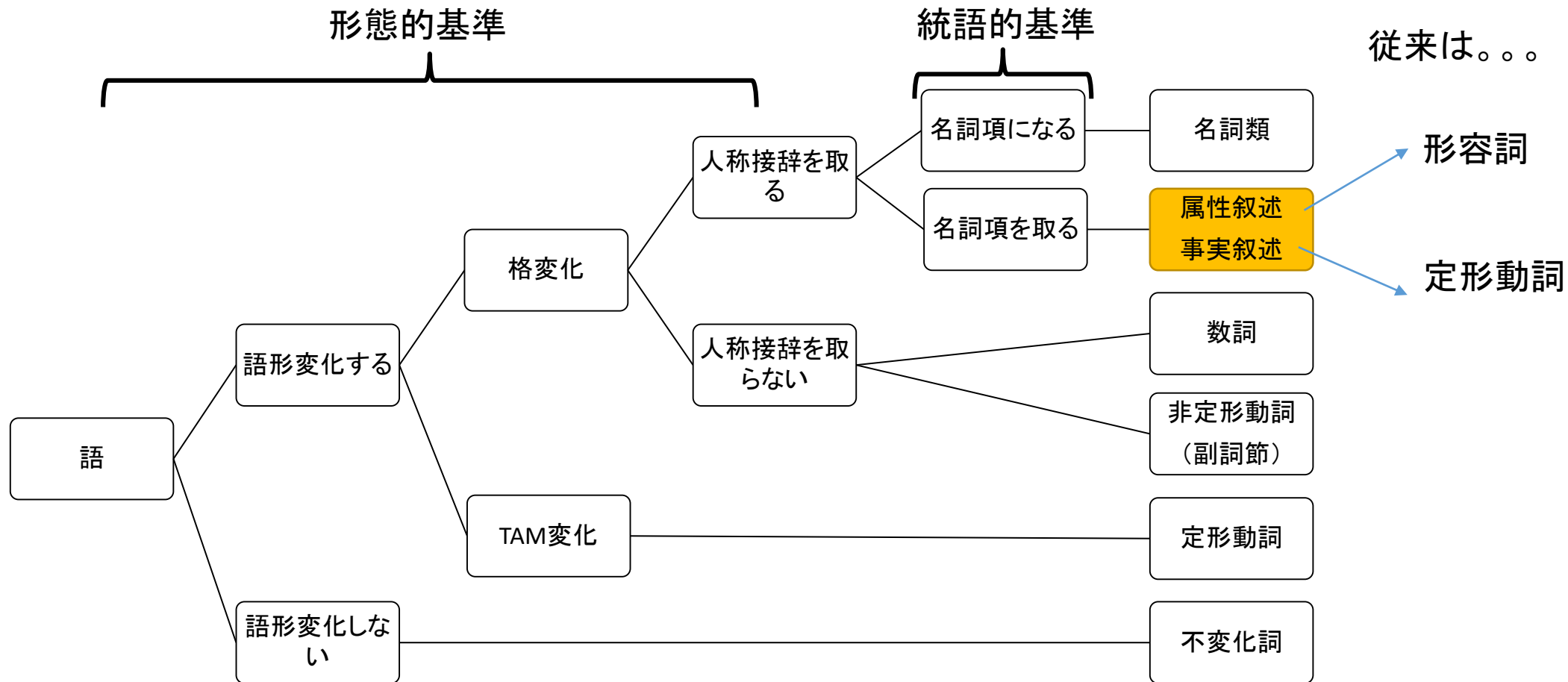


＜ウサギ猫＞

コリヤーク語の類型的特徴

- 3系列の母音調和
- 名詞抱合, 複統合タイプ
- 固定していない語順
- 二重標示型: 名詞はdependent marking, 動詞はhead marking
- 接尾辞型(ただし, 接頭辞, 接周辞もあり)
- 動詞の多人称標示, 人称代名詞は非義務的
- 名詞の格組織: 能格型
- 動詞の人称標示: 対格型・能格型
- ヴォイス: 逆受動, 使役, 逆使役, 充当相

コリヤーク語の品詞分類



属性叙述 n-(N形)／事実叙述 ye-/ya-(GA形)

先行研究では？

- N形:

形容詞の一種「性質形容詞」(Zhukova 1972:146)

- GA形:

定形動詞の過去形 II (間接経験)(Zhukova 1972:234)

定形動詞の過去形 II (遠過去)(Moll 1960)

N形とGA形の共通点

A) 絶対格単数・双数・複数により屈折(名詞的): 自動詞ewji「食べる」

(9a) *n-ewji-qin*(絶単), *n-ewji-qine-t*(絶双), *n-ewji-qine-w*(絶複)「大食いの／大食いだ」

(9b) *y-ewji-lin*(絶単), *y-ewji-line-t*(絶双), *y-ewji-line-w*(絶複)「食べた」

B) 名詞を修飾する・述語になる

(10a) *n-ewji-qin* *ʃojacek* 「大食いの男」

PRP-食べる-ABS.SG 男(ABS.SG)

(10b) *ŋajen* *ʃojacek* *n-ewji-qin* 「あの男は大食いだ」

あの 男 PRP-食べる-3SG.S

(11a) *ɣ-ewji-lin* ʃojacek 「食べた男」

FP-食べる-ABS.SG 男(ABS.SG)

(11b) *ŋajen* *ʃojacek* *unmæk* *ɣ-ewji-lin* 「あの男はたくさん食べた」

あの 男 (ABS.SG) とても FP-食べる-3SG.S

C) 1項標示(自動詞＝主語, 他動詞＝目的語)

(12a) *ŋajen ʃojacek n-ewji-qin* 「あの男は大食いだ」(=10b)
あの 男(ABS.SG) PRP-食べる-3SG.S

(12b) *ŋajen ʃojacek n-anja-qen.* 「あの男は褒められる(立派な男だ)」
あの 男(ABS.SG) PRP-褒める-3SG.P

(13a) *ŋajen ʃojacek unmək y-ewji-lin* 「あの男はたくさん食べた」=(11b)
あの 男(ABS.SG) とても FP-食べる-3SG.S

(13b) *ŋajen ʃojacek unmək y-anja-len* 「あの男はよく褒められた」
あの 男(ABS.SG) とても FP-褒める-3SG.P

※ 定形動詞では通常, 自動詞＝1項標示, 他動詞＝2項標示

D) デキゴトの時間を超越した静的・固定的叙述(⇔事象叙述)

属性叙述(N形)の判定

属性叙述は時間の流れを超越した恒常的な属性を叙述するために、特定の時間や空間的限定を表わす副詞的表現とは適合しない(佐久間 1941)。

(14a) **ecyi anno n-ewji-qin.*
今 3SG.ABS PRP-食べる-3SG.S

(14b) *anno n-ewji-qin.*
3SG.ABS PRP-食べる-3SG.S
「彼／彼女は大吃いだ」

属性叙述と事象叙述の対立

- 属性叙述に対応する事象叙述(デキゴトの時間の流れに沿った動的叙述)では、定形動詞の不完了相 *ku-/ko-...-ŋ* が用いられ、両者は相補分布する。(15a) では恒常的な属性, (15b) では一時的な事象が述べられている。

(15a) 属性叙述

anno

3SG.ABS

n-ewji-qin.

PRP-食べる-3SG.S

「彼／彼女は大吃いだ」

(15b) 事象叙述

anno

3SG.ABS

ecyi *k-ewji-ŋ.*

今 IPF-食べる-IPF

「彼／彼女は今食べている」

◆ 形容詞語幹の場合には、事象叙述では動詞化

(16a) 属性叙述

en'pic

父 (ABS.SG)

unmæk

とても

n-ə-ŋot-qen.

PRP-E-怒った-3SG.S

「父はとても怒りっぽい」

(16b) 事象叙述

en'pic

父 (ABS.SG)

ecyi

今

unmæk

とても

ko-ŋot-at-ŋ.

IPF-怒った-VBL-IPF

「父は今とても怒っている」

温暖を表わす場合，場所名詞は所格に

(17a) 属性叙述

jaja-na

n-om-qen.

家-ABS.SG

PRP-暖かい-3SG.S

「家は(恒常的に)暖かい」

(17b) 事象叙述

jaja-k

ecyi

k-om-at-a-n.

家-LOC

今

IPF-暖かい-VBL-E-IPF

「家は今(一時的に)暖かい」



GA形：間接経験？

(18) (両親の若い頃について語るなかで)

ŋanko apuqa-k janot ko-tva-ŋ-e, to vəʃajok
あそこに アプカ-LOC 最初に IPF-いる-IPF-3DU.S そして その後

ya-jaly-ə-lenat jajol-wajam-etəŋ.

FP-移動する-E-3DU.S キツネ-川-ALL

「(二人は)最初, アプカに住んでいたが, その後ジャジヨル川に移住した」

(19) (肩甲骨の脂肪を「ねずみ」と呼ぶいわれについて語るなかで)

ajŋon ənnen el'ʃa əjava-nota-ken ɣ-ekmil-lin
昔 1 女(ABS.SG) 遠い-ツンドラ-GEN FP-take-3SG.P

cawcəva-ta to ya-n-n' ajt-al-len ŋalvəlʃ-etəŋ.

トナカイ牧民-INS(ERG) そして FP-CAUS-帰る-CAUS-3SG.P 群れ-ALL

「昔, あるトナカイ遊牧コリヤークが遠くから嫁をもらって, トナカイの群れに連れて帰ってきた」

「間接経験」を支持するデータ

ノンフィクションのテキスト55編, フィクションのテキスト39編を収録したKurebito (ed.)(2014, 2016, 2017, 2018, 2019) では, 動詞語幹に接続した664のGA形のうち, ノンフィクションで現れたGAが126 (19%), フィクションで現れたGAが538 (81%) と, フィクションにおける出現度が圧倒的に多い。フィクションで語られる内容は話者自身の直接体験ではないためであるとも解釈できる。

間接経験になりにくい場合：1人称が主語

(20) *majew* *mocy-a-nan* *ewən* *ya-n-cocəm-aw-len*
なぜなら 1PL-E-ERG もう FP-CAUS-用意する-CAUS-3SG.P

ujilq-a-n, *emec* *janot* *mət-a-ŋvo-la-n*
焚火-E-ABS.SG すでに したい 1PL.A.OPT-E-始める-PL-3SG.P
jəcil-a-k *kəmiŋ-a-n* *ujilq-a-k.*

横たえる-E-INF 子供-E-ABS.SG 焚火-E-LOC

「なぜなら、私たちはすでに焚き火を用意して、その上に子供を横たえようとしていたからだ」

(21) *unmək* *amu* *ya-kavi-ɣəm* *wajam-jewen* *lejv-a-k.*

とても たぶん FP-慣れる-1SG.S 川-沿って 歩く-E-INF

「私は川岸を歩いたりするのにとても慣れていた」

過去を表わさない場合：習慣

(22) *ecyi-kine-w* *kitkit* *mal'-ʃaɣulv-ə-kumɲat-ə-k,* *ewən*

今-GEN-ABS.PL するとすぐ 少し-荒っぽい-E-叫ぶ-E-LOC もう

ya-ɲotaw-lenaw.

FP-怒る-3PL.S

「今の人たちは、少しでも荒っぽく叫ばれたら、もうすぐに腹を立てている」

(23) *ecyi* *kitkit* *mət-ko-wel-al-la-ɲ,* *ewən*

今 するとすぐ 1PL.S-IPF-濡れた-VBL-PL-IPF もう

ya-ɲvo-mojo *cawjiɲ-cij-ə-k.*

FP-始める-1PL.S 咳する-INT-E-INF

「今では、私たちは濡れるとすぐに咳き込み始めている」

事実叙述としてのGA形

- A) 必ずしも間接経験を表わすわけではない
- B) 必ずしも過去(あるいは遠過去)を表わすわけではない
- C) むしろ, デキゴトを時間の流れに沿って叙述するのではなく, 静的あるいは固定的な事実として捉える形式と考えたほうがよいのではないか?

事実叙述と事象叙述の対立

(24)(隣人に今自分が産んだばかりの子どもを見せて)

k-iw-η-a-ni-n,

'Qejl', q-a-yit.

t-eto-n

IPFV-言う-IPFV-E-3SG.A-3SG.P 本当に 2SG.P.OPT-E-見る 1SG.A-産む-3SG.P
ŋavakək'.

娘-ABS.SG

彼女は彼女に言った。「本当よ、見て！ 私は女の子を産んだのよ。」

(25) (本当に子どもを産んだのを確認して)

jeppa e-pli-jelqiw-ke,

kumṇat-e,

'Cejvəne

ya-kmiŋal-len.

まだ NEG-終わる-入る-NEG 叫ぶ-PFV チェイヴゲ(ABS.SG) FP-産む-3SG.S
ɲavakək *ya-jto-len'*.

娘(ABS.SG) FP-産む-3SG.P

まだ家に入っていないうちから、彼女は叫んだ。「チェイヴゲが出産したのよ！ 彼女は女の子を産んだのよ。」

まとめ

- A) 従来，属性叙述形式は性質形容詞，事実叙述形式は定形動詞（過去Ⅱ）に分類されてきた。両者は，形態的には名詞的だが，統語的には動詞的な形式である。
- B) 両者は，デキゴトを静的なものとして捉える際に用いられる。すなわち，前者はデキゴトを「恒常的な属性」として，後者はデキゴトを「固定した事実」として捉える。この点で，両者ともに，デキゴトを時間の流れに沿って叙述する「事象叙述」と対立する。
- C) この対立は，形態的には，名詞vs.（定形）動詞の対立である。

N形とGA形を「時間的安全性」(Givon 2001)のスケールに置いてみると。。。



図：時間的安定性に関する品詞と叙述タイプの相関性

おわりに

- A) コリャーク語には、形態的には名詞だが、統語的には動詞である様々な語があり、これらは、定形動詞と静的・固定的なデキゴトの叙述vs. 時間の流れに沿った動的なデキゴトの叙述(＝事象叙述)と対立している。このようなデキゴトの叙述における対立は、コリャーク語の叙述の基盤となっていると考えられる。

e.g. 属性叙述, 事実叙述, 命令・義務, コピュラ文, 関係節, 副詞節

- B) 日本語にも人魚構文などの文末名詞文があり、このような叙述の対立は、通言語的にも比較する意義があるかもしれない。

e.g. 新屋 (2014:85) は、文末名詞が、名詞本来の事物をモノとして差し出す働きから外れて、述定に用いられるようになることにより、状況語や規定語として助動詞的な働きを帯びることを指摘している。新屋 (2014) はさらに、文末名詞文では、動詞の特徴であるテンス, アスペクト, 意志性といったカテゴリーが捨象されることで、あらわな指示性が回避されるという。

参考文献

新屋映子 (2014)『日本語の名詞指向性の研究』東京：ひつじ書房.

Boas, Franz (1905) The Jesup North Pacific Expedition. *Proceedings of the International Congress of Americanists, 13th Session, New York, 1902*, 91-100

Fortescue, Michael (2005) *Comparative Chukotko-Kamchatkan dictionary* (Trends in Linguistics, Documentation 23). Mouton de Gruyter.

Givón, Talmy (2001) *Syntax: an introduction* Vol. I. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins.

Jochelson, Waldemar (1904) The Mythology of the Koryak. *American Anthropologist* 6 (4): 413-425.

Jochelson, Waldemar (1928) *Peoples of Asiatic Russia*. New York : American Museum of Natural History.

呉人恵 (2010)「コリャーク語の属性叙述－主題化のメカニズムを中心に」『言語研究』138: 115-147.

呉人恵 (2014)「コリャーク語における動作名詞と動作主・被動作主名詞－名詞化の度合いに注目して－」『北方言語研究』4: 43-64.

呉人恵 (2017)「コリャーク語の「形動詞」の機能:「動作者名詞」との比較を通して」『北方人文研究』10:145-164.

呉人恵 (2021)「コリャーク語のデキゴトを表わす名詞的用法」『北方言語研究』11:37-54.

Kurebito, M. (ed.) (2014) *Koryak Text 1*. Toyama: Faculty of Humanities, University of Toyama.

Kurebito, M. (ed.) (2016) *Koryak Text 2*. Toyama: Faculty of Humanities, University of Toyama.

Kurebito, M. (ed.) (2017) *Koryak Text 3*. Toyama: Faculty of Humanities, University of Toyama.

Kurebito, M. (ed.) (2018) *Koryak Text 4*. Toyama: Faculty of Humanities, University of Toyama.

Kurebito, M. (ed.) (2019) *Koryak Text 5*. Toyama: Faculty of Humanities, University of Toyama.

Moll, T. A. 1960. *Korjasko-russkij slovar'*. Leningrad: Uchpedgiz.

宮岡伯人 (2009)「言語的「旧世界」としての環北太平洋」『国立民族学博物館調査報告』82: 29-44.

宮岡伯人(編)(1992)『北の言語:類型と歴史』三省堂.

佐久間鼎 (1941)『日本語の特質』東京：育英書院.(1995年復刻,くろしお出版)

Zhukova, A. N. (1972) *Grammatika korjaskogo jazyka*. Leningrad: Izdatel'stvo Nauka.

ご清聴ありがとうございました。